

令和3年度第2回学校評議員会記録

新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、書面開催としました。

1 実施時期

令和4年2月下旬～3月上旬

2 学校評議員

井上 孝之 高村 光輝 小田島 清美 小林 智 小畑 和滋 以上5名

3 資料

- (1) 本年度の取組状況について
- (2) 学校評価に係る生徒及び保護者アンケート

4 ご意見

資料について、評議員の方々からご意見をいただきました。

(1) 「生徒一人ひとりに応じた授業改善を図り、主体的に学ぶ力を育む」について

- ICTの積極的活用により、分かりやすい授業を行うための授業改善に向けた研究を今後も積み重ねてほしい。
- 生徒が他者のために尽くせる人へと成長できるよう指導願いたい。
- ICT利用の場面が増え教員は大変だと思うが、その中でも研修を行うなどより良い授業を目指す姿が素晴らしい。
- 生徒たちが登校できなくても、配信などで授業を受ける機会が増えることは良いことなので今後も継続を望む。
- アンケート結果で達成指数が目標値を大きく上回っていることから、学校全体が一丸となって取り組んでいることが分かる。

(2) 「豊かな感性、人間性を育み、社会性を養う」について

- 読書は人がより良い道を模索するために大変重要であり、良き人材となるために読書と思索の機会が必要だと感じる。
- 何のために学ぶのか、学んだことを何に生かすのか、先人・書物の登場人物等の思いに深く思索し世界で活躍できる人材の育成をお願いしたい。
- 「読書の楽しさ」を感じている生徒の割合が91%あり、とても良い。図書館の更なる利用に向けた取組を期待する。
- 目標達成指数を大きく超え、昨年度より大幅に上昇していることが素晴らしいと感じる。

(3) 「キャリア教育を推進し、進路実現を図る」について

- 様々な職業の人たちの話を聞くこと、そして自分の未来に向けた思いを大事にしていくことが、生徒の才能を開花させ、未来の人材を育てることにつながると思う。
- コロナ禍でも工夫しながら取り組んでおり評価できる。
- 生徒たちが新聞に接する場面が減っていると思うので、NIE活動を通じて積極的に新聞に触れてほしい。
- 将来の職業について考えることは、学習への主体的な取組に連動するものであると考える。(1)の取組と連動しているように感じた。

(4) 「心身ともに健康で自他を尊重する生徒を育み、いじめを防止する」について

- 生徒一人ひとりの悩みに寄り添う体制、いじめを見逃さないための学校全体での体制ができており、

今後も継続を望む。

- 研修などを通じていじめ対策を行っていることが評価できる。
- 学校生活に満足している生徒が増えていることを嬉しく思う。
- 北高に入学して良かったと回答している生徒が約93%いることが何より素晴らしいと感じる。日々の生活が充実している証である。課題を持つ生徒も少なくないと思うが、教育相談、S S Tなどの取組が効果を上げているのだらうと推察する。

(5) 「「チーム盛北」として家庭、地域と連携した教育活動を推進する」について

- アンケート結果から、家庭環境が充実していることが伺われる。
- 取組内容について個々の状況を見ると概ね良いと思うが、教員の勤務状況の厳しさが見て取れる。さらに働き方の改善を行ってほしい。
- H Pの更新について、日々の多様な業務の中、素晴らしいと思う。

(6) 生徒・保護者によるアンケート結果について

- 生徒と保護者の結果に大きな乖離がなく、家庭環境が充実していることが伺われる。
- 素晴らしい結果で、問題点は見られない。
- 生徒評価と保護者評価の結果が同じ傾向で高い数値であり、本当に素晴らしいと思う。学校が信頼され、今年度の学校経営が計画どおりに行われた成果だと思う。